

# 合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 メディア創造 学科 専攻

出身高校名 光ヶ丘女子高等学校

AO方式入学者選抜 第Ⅱ項  
メディア創造学科

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私が同志社女子大学を志望した理由は、メディアについて幅広く学べる講義が多種多様に  
あるからです。座学だけの学びだけでなく、番組制作などの実習が多くあるため、専門知識や幅広い  
視野を養うことができることに魅力を感じました。また、2年生の時に参加したオープンキャンパスで影  
山貴彦教授のミニ講義を拝聴したことで、テレビ・ラジオの現場での経験に基づき、メディアの意図  
を学ぶ講義に強く興味を引かれたため、同志社女子大学で学びたいと考えました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校で放送部に所属し、ラジオドキュメント番組のチーフを務めていました。この経験を  
を最大限活かし、自分をアピールすることができるのはAO入試だと考え、受験しました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は放送部での活動をアピールしました。大会での成績や自分の作品が実際にラジオで  
流れたこともアピールしましたが、部活動・番組制作でどんな役割を担い、どんな  
失敗をし、どんな努力をし、何を学んだかを中心にアピールしました。目標に向かって  
何をしてきたかとアピールすることが大切だと思います。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

私は将来やりたい「ラジオ」と関連した書類を書くようにしました。課題レポートもラジオを取り上  
げている本・テレビを見て「戦争とラジオ」にしました。ネタは大事だと思うのでレポートのネタ探し  
は早めにやっておいた方が良くと思います。自己PRと志望理由書は自分のやりたいこととかくので  
簡単だと思います。また課題レポートは知識が必要なので本を読んだ方が良くと思います。  
私は戦時下のラジオ放送の背景を理解するために日本史の先生に質問したり、ドキュメンタリーを見ていました。

〔面接〕

私は「自分らしく」という言葉も大切に面接に臨みました。練習は先生だけでなく友人・先輩にも協  
力してもらいました。本番は緊張で体が震えていましたが笑顔で伝えたいことを伝えることができ  
ました。プレゼンテーションは話し方を意識してやりました。間、スピード、声の大きさ、強調したい  
ところでそれらを気をつけることで相手に分かりやすく伝えることができると思います。プレゼ  
ンテーションの練習はたくさんやった方が良くと思います。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試を通じて3年間でやってきたこと、将来やりたいことを明確にすることができました。  
また、文を書くこと、人前でプレゼンテーションすることは慣れていなくて大変でしたが、それらを兼  
りこえたことで自分を成長させることができました。自分を信じて、相手に分かりや  
く伝える、そして何よりも「同志社女子大学で学びたい！」という気持ちも大切に  
頑張ってください！